



構造物と地山の“なじみ不良”による浸食



作業道（森林施業用）

林道等では、これを流下する雨水がオーバーフローする箇所では崩壊（円内）が多発
 ※索道事故が多いため、近年ではこれに替わる作業道の設置が増えている模様



乗載荷重によるブロック積み擁壁の座屈



テンドンの破断（飛び出し）

【法枠の変状】



単斜面状の法枠脚部で写真のような破断面が多く見られ、せん断もしくは座屈状態と考えられる。
…法枠（スパン 1150, F150）の勾配 45°（単斜面）、平均破断角 50°

要因：地山（法切面）表層部の緩み → 主鉄筋等による抑止力不足

対策：補強材による引止力が主体的に働くように、設置角度や長さの修正が必要では…



座屈状態





円内は梁が浮いた状態・・・最終的に鶏ガラ状となる？
“抑止工 → 抑制工？”



水路底面からの伏流水と木柵の腐朽による変状
※木柵の計画：腐朽するまでに、立木が成長（根系で表層土を固定）することを想定



基礎の不良（景観を優先した結果？）

